

Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 No. 7
平成 31 年 1 月 1 日発行



目次

-
- ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - [特集] 鈴友会発足 50 周年の集い・・・・・・・・・・・・・・・・ 3~5
 - ・ 祝いと共に母校を懐かしんだ一日
 - 鈴友会活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6~7
 - ・ 平成 30 年度鈴友会総会および滋賀県支部総会の報告
 - ・ 鈴友会 50 周年誌「鈴峰をあおぎて」の贈呈
 - ・ 総会に参加して
 - ・ 平成 28・29 年度事業及び会計報告 ・ 新役員の紹介
 - 卒業生の近況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - ・ 平成 30 年 春の叙勲者のご紹介
 - ・ 平成 30 年総会・鈴友会発足 50 周年の集いに参加された会員の声
-



鈴友会 名誉会長

市野 聖治

(鈴鹿大学短期大学部 学長)

あけましておめでとうございます。希望に満ちあふれた新年を迎えられ、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から、本学に対して多大なご理解とお力添えを賜り、深く感謝申し上げます。鈴鹿大学「短期大学部」は、既に開学 50 周年を経過し、新たな将来展望を描き、地域に貢献する大学としてさらなる進展を目指してまいります。鈴鹿大学「こども教育学部」は、まだ社会から十分認知されているとはいえませんが、より充実した学部を目指し、小学校教員養成課程新設の検討に入りました。「国際人間科学部」は、今年 25 周年を迎え、4 月から「国際地域学部」に改組され、変化するグローバル化された地域の課題を解決できる人材を目標としています。今日、私たちを取り巻く環境は、これまで経験したことのない、長寿化、情報化の中にあります。これらは、産業人口の減少、人工知能の進化等、将来の予測が極めて困難となっています。大学に求められていることは、将来に対応できる創造的な人材養成であるといえます。同窓会も、三学部学科それぞれの個性とオール鈴鹿大学としての連携が期待されています。本学発展のために引き続きご指導いただけますようお願い申し上げます。



鈴友会 会長

鎌田 美千代

(昭和 56 年度卒業)

鈴友会会員の皆様、謹んで新春のお喜びを申し上げます。昨年は鈴友会発足 50 周年を迎え、9/1 に総会と発足 50 周年記念事業として記念誌を発行し、短期大学部に贈呈いたしました。会員の皆様にも送付しました。記念誌の作成は足かけ 2 年をかけて、役員及び実行委員会の皆様のお力添えをいただき完成に至りました。改めて厚く御礼申し上げます。総会とその後の茶話会には、世代を越え三重県はもとより他府県からも卒業生に参加をいただき、近況報告や思い出話に花が咲き和やかな内に閉会となりました。今回の Bell Friend No.7 は当日の様子や参加された方々の感想などを掲載しました。参加者の皆様より直接お声を聴くことができ、同窓会にとりましてまたとない交流の機会をいただきました。世代関係なく同窓会を通して各方面でご活躍の会員の皆様の様々な情報を共有し交流を図る場になるよう、もっと同窓会を身近に感じていただけるように、努めていきたいと思っております。会員の皆様にとりまして良い年になりますようご祈念しご挨拶いたします。



滋賀県支部長

伊藤 裕美

(昭和 52 年度卒業)

鈴友会発足 50 周年事業を無事終え、記念誌「鈴峰をあおぎて」をいただき、拝読しました。発刊に至るまでたくさんの方々のご努力があったことを推察し、なつかしい恩師の学生に向けての思いにもふれることができ、感謝の気持ちがわきあがってきました。現在高齢化社会を見据え、健康日本 21 事業の整備等が進められ、健康増進や食育も話題となっています。滋賀県支部も 1979 年 (昭和 54 年) 9 月に発足し 39 年経過し、会員数も 240 人あまりとなりました。時代の流れに沿いつつ、大学での学びから社会人として活躍中の方や、退職後専門職の経験を生かし、まちづくり協議会・こども食堂・健康推進委員などさまざまなボランティア活動に携わっている方などが県内外で活躍中の事と思っております。日々の活動の中で偶然本学卒業生というご縁に出会うことができました。

今年は、滋賀県支部発足 40 周年という記念する年になります。2005 年以来懸案となっている滋賀県支部総会を滋賀で開催させていただきたく計画中です。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

特 集 鈴友会発足 50 周年の集い

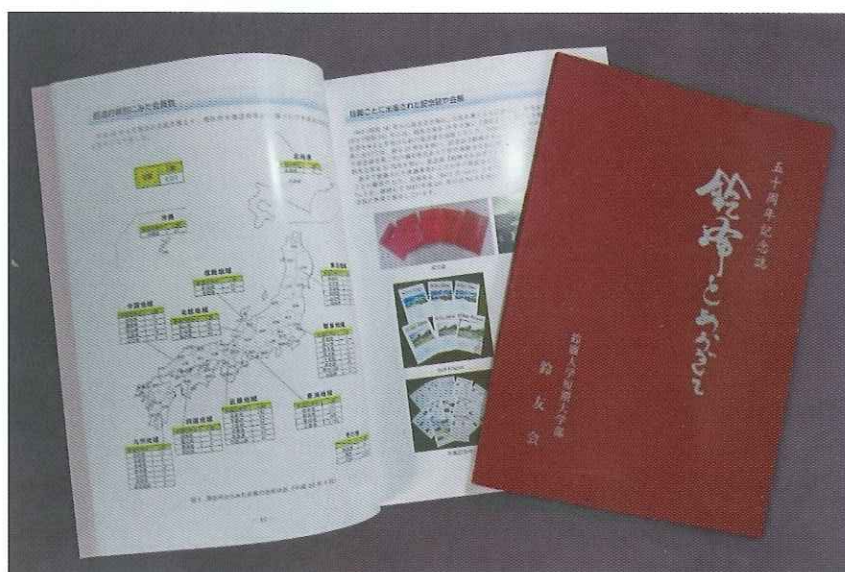
祝いと共に母校を懐かしんだ一日

平成 30 年 9 月 1 日（土）、平成 30 年度鈴友会総会・滋賀県支部総会を開催いたしました。また、総会終了後、ランチルームに移動し茶話会を行いました。懐かしい顔ぶれに当時を思い出し、話も盛り上がりました。短い時間でしたが、笑顔が絶えない楽しい会となりました。

出席された方には鈴友会発足 50 周年記念誌「鈴峰をあおぎて」を配布しました。記念誌を読まれた方から「大変記念にふさわしい内容ですね。」とのお声をいただき、鈴友会実行委員一同、とても嬉しく感謝しております。



交流を深め笑顔いっぱいの皆さん



「鈴峰をあおぎて」平成 30 年 9 月 1 日発行の鈴友会発足 50 周年誌

EVENT REPORT

学友と一緒に。親子で参加。恩師・先輩・後輩が顔を合わせて語り合い近況を知る。このような機会を大切にしたいものです。

乾杯の挨拶の様子

本日はお忙しい中をお集りいただきましてありがとうございました。卒業以来何年目の再会となりましょうか。学生時代に戻ったつもりで、楽しい時をすごしていただければと思います。それでは、ここにお集りの皆さんのご多幸と50周年の集いの盛会を祈念いたしまして、乾杯！

鈴友会発足50周年おめでとうございます。



- ・参加して良かったです。
- ・和やかな雰囲気のもと、スムーズに会をお運びいただきありがとうございました。役員の皆様お疲れさまです。今後ともよろしく願いたします。
- ・2年前の鈴鹿大学短期大学部50周年式典には郡山キャンパスの見学も兼ねて出席しました。今回の鈴友会発足50周年の案内には当日受付もOKとありましたので寄せていただきました。こういった機会がないとなかなか母校へ来ることもないのでこれからもご案内をいただけたらできるだけ参加したいと思います。役員の皆様ありがとうございました。

- ・記念誌発行にあたり、編集作業等、大変なことだったと思います。ありがとうございます。
- ・内容を見ても大変記念にふさわしい内容となり、家でゆっくりとみます。
- ・このような機会を設けていただきありがたく思っています。皆様のお顔も見せていただき嬉しいです。
- ・50周年おめでとうございます。ますますのご発展をお祈りいたします。
- ・50周年を迎えられ、今日、集いに参加できて大変な喜びです。今の大学もいろいろな分野で教育が変化する飛躍のお話を聞かせてもらい良かったです。
- ・発足50周年の記念誌の発行おめでとうございます。懐かしいお顔に会えて嬉しく思います。益々のご発展をお祈りしております。



- ・ 50年という長い間の記念の会、とても意義があると思います。そして、そのような記念ということで集まりやすいと思います。
- ・ 50周年おめでとうございます。これからも短大が発展していくことを祈ってます。
- ・ 皆様の日頃のご尽力の賜物かと。このような会を企画いただきありがとうございます。感謝申し上げます。
- ・ このような集いを設けていただきまして、ありがとうございます。



- ・ 先生方や先輩と楽しくお話できて嬉しかったです。ステキな時間を過ごせました。
- ・ このような機会を設けていただきありがとうございます。皆様のお顔をみせていただき嬉しいです。
- ・ 様々な方と交流ができ、とても楽しめました。
- ・ こどもを連れての参加でしたので軽食をたくさんいただいてすみません。美味しかったです。
- ・ 今回は、友人には会えませんでした。なつかしい先生方にお会いできて嬉しかったです。ビンゴ大会も楽しかったです。ありがとうございました。

- ・ 立派な記念誌をいただきありがとうございます。
- ・ 記念誌実行委員の皆様感謝しております。



- ・ 久しぶりのビンゴゲームは楽しかったです。
- ・ 増田前会長がゲームの参加賞にと手作りの梅干しを用意されました。



学生食堂「カトル・セゾン」の大山料理長さんにおすすめのメニューを用意してもらいました。美味しかったです。

皆さんご参加ありがとうございました。

鈴友会活動

平成 30 年度 総会報告

平成 30 年 9 月 1 日 (土) に、鈴友会総会・滋賀県支部総会と鈴友会発足 50 周年の集いを開催しました。総会では、川又俊則副学長からご挨拶とともに鈴友会発足 50 周年のお祝いのメッセージをいただきました。引き続き 50 周年記念誌「鈴峰をあおぎて」の贈呈式も行いました。県内外から参加した卒業生は、お忙しい中ご出席くださった恩師の先生や同窓生との再会を喜び、近況報告や学生時代の思い出などで話がはずみ、にぎやかで楽しいひとときを過ごしました。



受付



川又副学長のご挨拶



鎌田会長挨拶



伊藤滋賀県支部長の挨拶



物故会員に黙祷を捧げる



鎌田会長から短期大学部へ記念誌を贈呈

参加された卒業生の皆さんからメッセージをいただきましたので、その一部をご紹介します。

- 機会をいただいて 1 日友に会うことができました。新しい校舎に足を踏み入れること大変嬉しく思いました。卒業して約半世紀を経過したことに驚きをかくせません。
- 滋賀県支部と一緒に総会を運営していただきありがとうございます。いつも全てお任せして申し訳ございません。今年度は滋賀県会員様に連絡を取り、活動・親睦を深めたいと考えています。ご協力よろしくお願ひします。
- いただいたハガキに「ご家族お子様を連れて」とのお言葉がありました。私の通った大学に興味をもった子どもたちが「行ってみたい」と言うので出席しました。大学とはどんな所なのかを知るいい機会にもなったと思います。ありがとうございました。(福永 峰子記)

『 総会に出席して 』

橋本(高野) 陽子 (平成 12 年度 養護教諭・福祉卒)



大学構内にて

卒業後、幼稚園や小学校、中高一貫校などで養護教諭(または養護助教諭)として勤務させていただきました。3 人目出産後よりパートの仕事をしようと思い、保育士の資格をとりました。今、教員免許を活かして放課後児童クラブと取得した保育士免許を活かして託児所で働いています。養護教諭の道は離れましたが、教えていただいた看護の知識や食物の知識(養教福祉コースだったので食ゼミを受講していたので)は、子育てや子どもと関わる今の仕事にもとても役に立っています。ありがとうございました。

平成 28・29 年度 事業及び会計報告

● 事業報告 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

<p>平成 28 年度 役員会：4/28 5/19 6/23 7/21 8/9 8/24 9/21 10/26 11/17 12/8 1/19 2/16 総会：9/3</p> <p>平成 29 年度 役員会：5/25 6/28 7/26 8/30 10/23 11/22 1/23 2/21 2/26 3/26</p>	<p>*総会 (平成 28 年 9 月 3 日) ○会則の改正 ○母校創立 50 周年事業協力 ○平成 26・27 年度事業報告・会計報告 ○会報発行 ○役員選出 ○平成 28・29 年度事業計画案</p> <p>*役員会審議項目 ○Bell Friend No6 発行 ○母校創立 50 周年誌寄稿文 ○卒業記念号発行</p>
---	--

● 会計報告書 (単位：円)

平成 28 年度報告書 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) ^{※1}	2,640,575	印刷費	178,437
(定期預金)	2,919,824	消耗品費	123,846
終身会費(H28年度 卒業生)	690,000	通信費	64,862
利息 (普通預金)	32	その他	115,248
(定期預金)	620	卒業記念品	73,500
		小計	555,893
		次年度繰越金 ^{※2}	5,695,158
合計	6,251,051	合計	6,251,051

※1 終身会費 (H27 年度 卒業生) ¥580,000-含む

※2 終身会費 (H28 年度 卒業生) ¥690,000-含む

平成 29 年度報告書 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) ^{※1}	2,774,714	印刷費	13,824
(定期預金)	2,920,444	消耗品費	24,298
終身会費(H29年度 卒業生)	655,000	通信費	21,976
利息 (普通預金)	324	その他	5,248
(定期預金)	248	卒業記念品	63,000
		小計	128,346
		次年度繰越金 ^{※2}	6,222,084
合計	6,350,430	合計	6,350,430

※1 終身会費 (H28 年度 卒業生) ¥690,000-含む

※2 終身会費 (H29 年度 卒業生) ¥655,000-含む

上記の通り、ご報告させていただきます。

以上、監査するに事実と相違ありません。

平成 30 年 8 月 22 日

会計 大畑 陽子 上薦 克也

平成 30 年 8 月 24 日

監査 梅原 頼子

新役員の紹介

本部役員

名誉会長	市野 聖治	(鈴鹿大学短期大学部 学長)
会 長	鎌田 美千代	(昭和 56 年度・養護教諭)
副 会 長	永岡 宏行	(平成 16 年度・食物栄養)
書 記	元木 ひとみ	(平成 4 年度・商経学科)
	前澤 いすず	(平成 11 年度・食物栄養)
会 計	大畑 陽子	(平成 5 年度・商経学科)
	上薦 克也	(平成 19 年度・こども学)
監 事	梅原 頼子	(昭和 59 年度・食物栄養)
顧 問	福永 峰子	(昭和 53 年度・食物栄養)
	増田 文子	(昭和 44 年度・食物栄養)
	有竹 千鶴	(昭和 61 年度・商経学科)



本部役員です。よろしくお願いいたします！

滋賀県支部役員

支 部 長	伊藤 裕美	(昭和 52 年度・養護教諭)
副支部長	植村 靖子	(昭和 47 年度・食物栄養)

